

薬は怖いという話

JJ1SXA/池

昨年末より風邪気味の症状があったが、今年に入り、治る所か、ますますひどくなつたような気がしたので、内科医で受診、風邪薬を処方してもらった、2週間分の薬が無くなっても完治の心配が無いので、また2週間分の薬を処方してもらい飲んでしたが、悪いことは重なるもので、今度は久しぶりに痛風の症状が出て歩くのがつらく仕方無しに外科医で受診、薬(尿酸値を下げる薬)の処方を受けた。

今までは、痛風を発症して3日目くらいから4~5日がピークで発症から約2週間で腫れが引き、痛みが無くなるというのがのがパターン、痛風の症状は左足の親指付け根が腫れていたのですが、腫れがほぼ引き、痛みも和らいで来た頃、右足のアキレス腱付近に痛みを感じ、珍しく痛風がこんなところにも出るのかなと思っていました、これがとんでもない間違い、何時もかかっている脳外科医に定期健診の診察に行った時、こんなところが痛風のような痛みがあると訴えると、患部を触診し、これは痛風では無い、すぐに血液検査を行うとのこと、その時点では何でだろう位の軽い気持ちだったが、診断は「横紋筋融解症」、それはどんな病気かと質問すると、簡単に言うと筋肉が融ける病気とのこと、然もかなりの重症だ、即入院した方が良いかもとの返事、びっくり仰天です、「横紋筋融解症」発症の原因はいろいろあるのですが、私の場合は、「薬剤性」だろうということで、現在服用中の薬を一旦全部中止して、1週間後再度採血の結果、間違いなく、「薬剤性・横紋筋融解症」、かつ、横紋筋融解症の判断をするCKPの値も大分下がった(まだ、上限値はオーバーしているが…)ので薬の服用をもうしばらく中止して様子を見ることになった。

症状だが、足の痛み(筋肉痛がひどく歩行困難)、脱力感(頭はぼう~として、気力無し)、これがこの病気の特徴のようですが、なにしろ両足で立っているのに何となくバランスが取れなくてどこかに掴まっていけない状態です、一時期は階段の上り下りも不自由で這って上り下りした、加えて腎臓の機能に影響あります。

老人が足にくると、あまり長くは生きていないというのを、見聞きしてきたので、私もいよいよ年貢の納め時が近づいたかと本気で考えました、マイナス思考しか浮かびません、鬱の状態なのでしょう、これではいけないと気を奮い立たせたいが、思うにまかせません、XYL曰く、認知症老人と変わらないとのこと、少し無理でも運動しろとハッパをかけられるが、そんな気力は無し、重ねて肉体が動かない、結局そんな症状が一進一退、足の筋力は衰える一方、未だ、100%の回復に至らず、表向きはできるだけ何もないような顔をしているが、認知症老人、寝たきり老人の半歩手前の感じ、医師の処方する薬で薬剤師のチェックを受けていても薬は怖いと思い知らされました。

XYLが毎日、個々の薬の効果、副作用等をWEBで勉強し、俄か薬剤師状態、私もつられて勉強し、薬の知識の必要性を痛切に感じました。